

餓鬼草紙

宮坂静生



逝きしひと声から忘れ鳥曇  
卒業子風あつるやう齒を磨く  
果樹園の残雪老婆繩さがす  
鯨肉齒のよきときは齒を忘れ  
反戦を誓ひ金蛇穴出づる  
糞尿を食ひあさる餓鬼臙の夜



餓鬼道に墮ちしを鬼蜘蛛が噛ひ  
福寿草萼の全開核あぶな危  
鶯の乱声ウクライナを救へ  
霾天の砲音おと念仏地より湧く  
ファックスの来る音鬼の霍乱か  
白き髑髏積み上げ春のクレムリン  
鉄くろがねの山の凍土に縋る民  
いつか春ノヴォシビルスク大学生  
ロシアの学生の講義の終りに